

子供政策連携室と連携した取組

子供政策を総合的に推進する全体像



「チルドレンファースト 子供政策の加速に向けた論点整理」（令和4年7月 子供政策連携室）

子供政策連携室と連携した取組

教育庁の取組

日本語を母語としない子供

- ▶ **都立高校での取組**
 - ・在京外国人生徒対象募集枠の設置
 - ・日本語指導外部人材活用事業
 - ・多文化共生スクールサポートセンター（在京枠設置校）
- ▶ **小・中学校（区市町村立学校）に対する支援**
 - ・日本語学級設置校への教員加配
 - ・区市町村事業への支援（就学促進等）
- ▶ **共通の取組**
 - ・外国人児童・生徒への教育相談事業
 - ・児童・生徒用教材、教員用ハンドブックの作成
 - ・教員向け研修の実施

ヤングケアラー

- ▶ **早期把握の強化**
ヤングケアラー支援に関する教職員の対応力向上
 - ・学校の役割や具体的取組をまとめたデジタルリーフレットの作成・活用
 - ・教職員に助言を行う相談窓口を開設

ユースヘルスケア

- ▶ **臨時学校医として産婦人科医を任用**
 - ・生徒・保護者の相談に対応
- ▶ **授業内容の充実**
 - ・都立高校における特別授業を実施
- ▶ **相談窓口の活用**
 - ・相談窓口「とうきょう若者ヘルスサポート（わかさぼ）」の周知、活用

関係各局と連携し、誰一人取り残さない視点から子供へのサポートを強化

子供を笑顔にするプロジェクト

プロジェクトの背景とねらい

新型コロナウイルス感染症により、学校行事等、様々な制約のある学校生活を送ってきた子供たちに「見る・聞く・触れる」多様な体験の機会を提供

子供たちに笑顔になってもらい、前向きで充実した学校生活や豊かな感性の涵養につなげていく

事業の概要

○スポーツ、芸術、伝統文化、自然体験、講演・交流など**幅広い体験プログラム（約170種類）**をメニュー化し、学校に提示

○学校が、各々の特色や実情を踏まえ、希望するプログラムを選択（独自の企画についても対応）

▶ **対象** 都内全ての小中高等学校、特別支援学校 ▶ **教育庁予算** 令和4年度：約42億円

▶ プログラム例

スポーツ	芸術	伝統文化	その他活動
<ul style="list-style-type: none"> ・プロアスリートによるスポーツ教室・講演 ・パラスポーツ体験 ・HADO（ARスポーツ）体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供参加型の即興劇 ・フィンガーペイントでオリジナルTシャツ作り ・指揮者体験講座・音楽鑑賞教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・狂言体験プログラム ・「東京本染め手ぬぐい」染め物体験 ・相撲部屋ミニ巡業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームで学ぶチームビルディング ・楽しく科学を学ぶサイエンスショー ・環境問題を笑って学ぶSDGsショー

参加状況

参加申込をした公立学校は約8割（2,136校中、1,665校）【9月30日現在】

子供を笑顔にするプロジェクト



ゲーム感覚で課題解決に取り組む「チームビルディング」体験



アフリカンアーティストと共に一人一台ずつ配られたドラムを叩き、生徒全員でセッション



車いすバスケットボールのルールを簡単にした「車いすポートボール」体験



オリンピック金メダリスト・内村航平氏による講演

